SY13-3

道内各地の学校教員と一緒にアレルギー対応を模索する看護師の立場から

大竹由香穂
医療法人社団　真駒内キッズクリニック

北海道は広い。医療圏も広い。しかし医療過疎地と呼ばれる場所にも子どもたちが暮らし、そこに赴任する養護・栄養教諭たちがいる。

北海道教育庁では初任者や中堅研修をはじめ、アレルギー研修を実施している。個々の教員任せではなく「均質」を道民に保証するべく対象教員に等しく受講機会を設け、コロナ禍においても早期のオンライン導入や効果の高い対面研修の分割開催などの教育機会の提供が工夫されていた。この姿勢は医療側も学ぶところが多いと感じている。

普段より様々なソースから自己学習を重ね既にアレルギーの基礎知識を持っている教員も多いため、研修に講師として参加させて頂くにあたり以下のような目標設定をしている。1現場で予想されるケースと知識をリンクできる、2北海道に多い花粉―食物アレルギー症候群など地域特性の高い知識を得る、3シミュレーションを通して体感し、また現場で体現できるようになる、4現場に戻ると即指示者・指導者となる立場であるため、一般職員に対しシンプルでわかりやすい対策を構築できる、5わからない・困っていることを表出できる、といった点である。また、子どもたちを取り巻く環境の変化や受講者の属性も考慮し、研修の内容を常にアップデートし続ける必要性がある。

研修終了後に頂く質問や相談は所属組織や医療機関に関する内容が多く、大まかに大別すると「管理職の理解・協力が得られない」「アレルギー診療の未均てん化」である。アレルギー診療の未均てん化は、学校現場のみならず、結果として子供たちに不利益をもたらす。
学校現場が対応を求められているアレルギーは重症例だけではない。「アレルギー診療の未均てん化」の結果として発生している相当数のグレーゾーン件数を抱えており、学校現場の業務の煩雑さが増しているだけでなく重症例の安全度が下がることにもつながりかねない。

「アレルギー診療の均てん化」のために私たちは何ができるのだろう。まずは「未均てん化」の現状を知ることから、そして学校生活を始め子どもたちの日常生活の質の向上に必要とされる「アレルギー知識の均てん化」の対象の幅広さを再確認することから始まるのかもしれない。

SY13-4

地方基幹病院のアレルギー外来・診療支援を行っている小児科医師の立場から

野上　和剛
札幌医科大学医学部　小児科学講座

小児アレルギー疾患は、一次・二次医療機関が主な診療の場である。その一方で、この10年間で多くの転換的なエビデンスが発出され、標準的とされるアレルギー診療が大きく変化し、専門知識や経験が必要な事項が増えてきている。たとえば、食物アレルギーはリスクの高い患児の経口負荷試験、経口免疫療法、新期の探索的治療や栄養指導など、アトピー性皮膚炎や気管支喘息、アレルギー性鼻炎に対しては、分子標的治療薬の小児適応拡大や免疫療法などが挙げられる。診療のみならず、各種連携や、教育活動・社会活動、研究活動など、病院内外の取り組むべき課題は多岐に渡る。

アレルギーは日常生活や日々の治療・ケアに立脚した分野であるため定期的な受診が必要だが、広大な北海道で、専門診療が可能な施設は札幌に集中している状況においては、受診アクセスの地理的な障壁が大きい。平成26年に公布されたアレルギー疾患対策基本法において、「居住地域にかかわらず等しくアレルギー疾患医療を受けることができる均てん化の推進」が盛り込まれているが、まさに北海道はこの課題の解決が試されている地域である。

地理的な障壁を超えるため、アレルギー診療の均てん化を目指すための取り組みをいくつか始めている。まず、道内の関連病院に定期的に出張し、専門外来を展開している。常勤医師に診療の方針や注意点などをフィードバックし、一緒に学ぶように心がけている。また、いくつかの関連病院でQRコードを用いた相談フォームを運用している。専門医にメールで相談するうえで、若手医師から、相談するため必要な情報がわからない、メールで相談する事自体に抵抗がある、といった声が聞かれたため、気軽に必要事項を盛り込んで相談できるツールを用意した。専門診療に対する医師のアクセス向上もあり、アレルギーをもっと学びたい、専門にしたい、と表明する若手医師が急増している。定期的な勉強会を開催し、それぞれに臨床研究や教育・社会活動を課し、成長著しい様を目の当たりにしている。将来はそれぞれの勤務地域で、小児アレルギー診療や活動のリーダーとして活躍し、均てん化への重要なステップの1つになると期待している。また、札幌医大附属病院アレルギーセンターを開設し多科連携を進め、学生教育・社会活動の基盤とする準備も進めている。これまでの取り組みで乗り越えられそうなことや今後の課題について、医師の立場から考察したい。

Presented by Medical*Online